

平成28年度第1回松伏町総合教育会議議事録

開催日時	平成28年6月15日(水) 午後3時45分から午後4時50分まで	
会議会場	松伏町役場第二庁舎3階 301会議室	
出席者氏名	構成員	松伏町長 會田 重雄 松伏町教育委員会教育委員長 若盛 正城 松伏町教育委員会教育委員長職務代理 田口 嘉則 松伏町教育委員会教育委員 谷ヶ崎由紀子 松伏町教育委員会教育委員 渡邊 淳子 松伏町教育委員会教育長 御処野 紀夫
	事務局等	企画財政課長 石川 敏 教育総務課長 魚 躬 隆夫 教育文化振興課長 中川 由美子 企画財政課主幹 目黒 健二 企画財政課主任 末次 雄一郎 企画財政課主事 鈴木 陵平 教育総務課主幹 渡辺 武志 教育総務課副主幹 岡本 正央
欠席者	なし	
傍聴人	なし	
次第 (協議又は調整が行われた事項)	1 開会 2 町長挨拶 3 教育委員長挨拶 4 協議・調整事項 (1) 松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略について (2) いじめ問題に関する町及び教育委員会の対応について (3) 松伏町立金杉小学校の通学区域の弾力的運用について 5 その他 6 閉会	
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度第1回松伏町総合教育会議次第 ・平成28年度第1回松伏町総合教育会議出席者名簿 ・資料1 松伏町の人口に関する将来の動向 ・資料2 松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略 ・資料3 いじめ問題に関する町及び教育委員会の対応について ・資料4 松伏町立金杉小学校の通学区域の弾力的運用について ・松伏町総合教育会議運営要綱 ・松伏町総合教育会議傍聴要綱 ・松伏町総合教育会議傍聴要綱運用基準 ・松伏町人口ビジョン ・松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略 ・総合戦略概要版 	
議事録作成者	企画財政課総合政策担当 主事 鈴木 陵平	

協議又は調整の要旨

議事	発言者	発言内容・決定事項
1 開会	事務局	会議の開会を宣言
2 町長挨拶	町長	町長の挨拶
3 教育委員長挨拶	教育委員長	教育委員長の挨拶
4 協議・調整事項		
会議録署名人の確認	事務局	会議録の署名人は、招集者である町長と教育委員会側で会議ごとに出席者名簿の順に従って、1人ずつ署名いただくこととなっているため、署名人は、町長と谷ヶ崎委員となる旨報告する。
(1) 松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略について	事務局	協議・調整事項の進行は、会議招集者である町長に依頼する。
	町長（議長）	次第 4 協議・調整事項の(1)松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略について事務局より説明を求める。
	事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略は、人口減少がもたらす問題点の克服や地方創生に主眼を置いた計画である。 ・町の人口は2060年には約2万人にまで減少する見通しであるため、人口減を最小限に食い止めるため、課題を整理し、それに対応する施策をまとめたものである。 ・子育て施策と、まち・ひと・しごとの各分野の政策を併せて行うことで総合的な人口減少対策を図っていく。
	町長（議長）	質問等を求める。
	教育委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て施策については、全国的な大きな課題となっている。 ・子育て施策として、近隣自治体がどのような取り組みをしているかを資料として提示することは可能か。
	事務局	周辺自治体においても総合戦略を公表していることから、近隣各市の状況を確認した上で、資料として提示することは可能である。
	教育委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・その資料をもとに松伏らしさ、他にないアイデアを模索することが必要であると考えている。 ・子ども・子育て支援法に基づく、地域子ども・子育て支援13事業との兼ね合いについて、総合戦略の中で町はどのように考えているかも併せて確認したい。 ・松伏で子どもを生き育てたいと思えるような施策を希望する。

	町長（議長）	その他意見等を求める。
	構成員	【意見・質問なし】
（２）いじめ問題に関する町及び教育委員会の対応について	町長（議長）	次に、４ 協議・調整事項の（２）いじめ問題に関する町及び教育委員会の対応について事務局より説明を求める。
	事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校から特別生徒指導報告書を毎月提出させ、学期毎にいじめアンケートを行い、教育委員会では実態の把握に努めている。 ・いじめ防止対策推進法に基づいて教育委員会としてもいじめ防止に取り組んでいる。 ・総合教育会議におけるいじめへの対応としては、首長の判断により緊急会議を開くことが可能となっている。 ・重大事態（いじめによる児童生徒の命、心身又は財産に重大な被害が生じた疑いがあるとき等）が発生した場合は、学校は教育委員会に、教育委員会は町長へ報告する流れとなっている。
	町長（議長）	質問等を求める。
	構成員	【意見・質問なし】
（３）松伏町立金杉小学校の通学区域の弾力的運用について	町長（議長）	次に、４ 協議・調整事項の（３）松伏町立金杉小学校の通学区域の弾力的運用について事務局より説明を求める。
	事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・金杉小学校は平成３０年度には全ての学年が単学級となる見込みであることから、今後の金杉小学校活性化のためにも、他の通学区域からの児童受け入れを検討している。 ・今年度中に学区審議会委員を委嘱し、通学区域の弾力的運用について学区審議会から意見をもらう予定である。 ・金杉小学校の特色を７つに分け、学区外の児童へのピアールを行う。特にALTの常勤を検討しており、英語教育の更なる充実を目指している。
	教育長	・現在の金杉小学校校長は、以前に文部科学省指定研究開発学校として委嘱を受けた粕壁小学校で、英語活動を経験しており、その経験を活かしていきたいと考えている。
	町長（議長）	金杉小学校の７つの取り組みとは、現在、金杉小学校で実際に行っているものか。
	事務局	現在行っているものであるが、一部は新しいものもある。

	町長（議長）	・他でやっているものでは意味が無い。特色ある取組を実施することで、金杉小学校に来たいと思わせることが必要だと考える。
	事務局	色々な意見等を頂きながら考えていきたい。
	町長（議長）	・新しいことをするにはお金がかかるが、取組を始めた際、入学した児童が卒業するまでの最低6年間は継続して取組む必要がある。 ・目に見える効果が現れないと、町民の皆様を示しが見つからない。結果を出さなければならない。その費用はいくらかかるのか。
	事務局	試算ではおおよそ600万円である。
	構成員	・金杉小学校へ行ってみようかなと思える特色が必要だ。 ・金杉小学校のエリアは調整区域であり、新たな宅地開発が難しく人が集まらないことから、北部地域の定住に結びつく政策も必要なのではないか。
	事務局	総合戦略の重点政策として、新市街地整備プロジェクトと北部活性化プロジェクトがあり、これらを総合した取組みを行っていくことで北部地区の活性化を図っていく。
	町長（議長）	その他意見等を求める。
	構成員	・金杉小学校の存続を地元の住民は希望している。 ・金杉小学校への車の送迎をする場合、道路の関係上、学校の手前までしか入れない。学区の弾力化と併せた細かい部分への配慮も必要ではないか。
	町長（議長）	・周辺道路については計画的に整備中である。 ・人口増への長期的なビジョンの一つとして来年から始めることが学区の弾力化であるが、道路などのその他のことについても平行して行っている。
	町長（議長）	その他意見等を求める。
	構成員	【意見・質問なし】
5 その他	事務局	次回の日程については、平成28年10月の定例教育委員会の日程に併せて開催する。具体的な日程等は決まり次第文書で通知する。
6 閉会	事務局	会議の閉会を宣言

上記記載事項は、平成28年6月15日松伏町役場第二庁舎301会議室において開催した、平成28年度第1回松伏町総合教育会議の内容を記録したものに相違ないことを認め、ここに署名する。

平成28年 7月 19日

署名人の職・氏名 町 長 會田 重雄

署名人の職・氏名 教育委員 谷ヶ崎 由紀子